

題材 「宮沢賢治の世界を味わう やまなし」

○時間中の第○時

(1) 学習のねらい

やまなしに出てくる言葉の意味について気になっている子どもたちが、ワークシートに書かれた言葉の意味について調べることを通して、言葉の意味に気付き、十二月の幻灯についての問いを持つことができる。

(2) 本時の学習材

子どもが疑問に思った言葉がリストアップされたワークシート

- 子どもたちは初めて十二月の幻灯を読んで、文中の言葉の意味について疑問を持ち、その言葉について調べてみたいと思っているだろう。その意識を捉えたところで学習材を提示する。
- 本教材は、子どもたちが疑問に思った言葉をリストアップしたワークシートである。このワークシートを使って疑問に思った言葉について調べていくことで、子どもたちはそれぞれの言葉の意味について知るだろう。そして、言葉の意味を知ったうえでもう一度十二月の幻灯を読み、問いを持つことを期待する。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 本時の課題を把握する。	学習問題 やまなしの文中に出てくる言葉には、どんな意味があるのだろうか ・金雲母って何かのかたまり？ ・イサドってどこなの？ ・かげ法師って何？ ○言葉について調べたいな	5	○前時の活動を振り返りながら、言葉についての疑問に触れていく。
	学習課題 辞書やタブレット端末を使って言葉の意味を調べよう			学習材 子どもが疑問に思った言葉がリストアップされたワークシート
展開	2 グループで言葉の意味について調べる。	・イサドって想像して作られた場所なんだ ・やまなしって食べられないんだ ・かげ法師は人の影のことだって ○よくわからなかった言葉の意味が分かったよ	25	○各班にタブレット端末を2台用意し、調べ学習が行えるようにする。 ・画像として残すことが可能であることも伝える。
終末	3 個人でもう一度十二月の幻灯を読む。		7	○言葉の意味を理解したうえでもう一度十二月の幻灯を読む時間をつくる。
	4 グループで話し合いながら、考えていきたいことを決める。	・どうして想像の町を作ったのかな ・どうしてやまなしがお酒になるの？ ・かには人じゃないのに、どうしてかこの影を「かげ法師」って言ってるのかな ・表現されている情景がよくわからない	8	○前時と同様に、班で話し合い、学習したいことを決める時間をつくる。 評価 疑問を持った言葉について調べることができたか。また、十二月の幻灯について問いを持つことができたか。